



# 平成28年度 第2回まなびあいサロン

テーマ：『お子さんの補聴器や人工内耳はだいじょうぶ？』

アドバイザー：自立活動支援センター 飯塚和也先生

7月14日（木）に、第2回まなびあいサロンが行われ、0歳から高校生までのお子様のいらっしゃる保護者や福祉施設職員の方が参加してくださいました。

今回は、聞こえや補聴器・人工内耳の基本的な内容をクイズ形式で楽しく学び合いました。聞こえの仕組み、聞こえ方、聴力検査の結果の見方、補聴器や人工内耳の仕組みと特性、毎日のお手入れ、新しい機種への買い換えなど、知っておきたい情報についての問題が出されました。参加された皆さんは、アドバイザーの飯塚和也先生の巧みな話術に、「あれ、どっちかな??」と迷いながら、楽しくクイズに答える姿が見られました。8問中7問正解した保護者さんに、お子様の発音練習に使うウェアハースのプレゼントがあり、クイズは大いに盛り上がりました。



また、飯塚先生からは、医療技術や科学技術の進歩により、以前は不可能だったことが可能になっている今でも、「手間をかけることが大切です。」と話がありました。いくら補聴器や人工内耳の性能が良くなっても、所詮は機械です。お子さんがより良い状態で使えるよう、調整や手入れなど、子育てと同じように手間をかけることが大切とのことでした。



## 参加者の感想

- ☆ とても分かりやすい説明でした。子どもの聞こえにくさを分かってあげて補聴器を大切に使用したいと思います。
- ☆ もう何年も補聴器を使っていたのに、改めて勉強になったことがたくさんありました。きちんと手入れをして良い状態にして使わせてあげたいと思います。
- ☆ 補聴器の手入れの仕方が分かり良かった。家族とのかかわり合いのいろいろな場面で、『手間をかけること』を大切にしていきたいです。